

1 福岡県学力調査実施状況

(1) 調査学年・科目

小学校（対象学年：5年生） 国語、算数

中学校（対象学年：1年生及び2年生） 国語、数学

(2) 参加状況（代表値：国語）

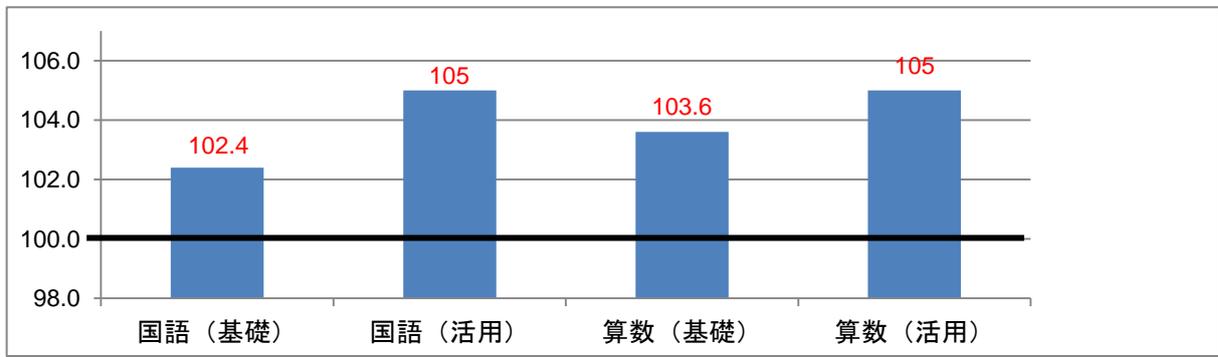
小学校 5年生 福岡県：23,629人 糸島市：967人

中学校 1年生 福岡県：21,532人 糸島市：850人

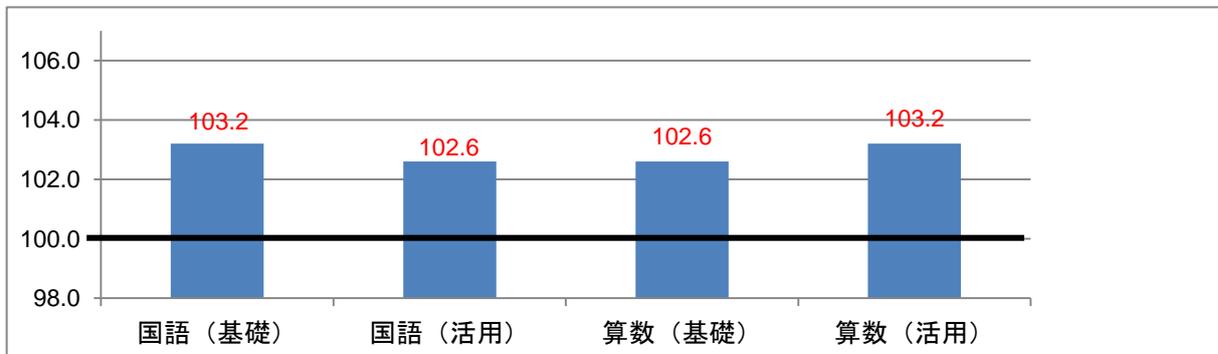
2年生 福岡県：21,524人 糸島市：879人

2 平均正答率 ※県平均を100.0（太線）とした標準化得点に換算

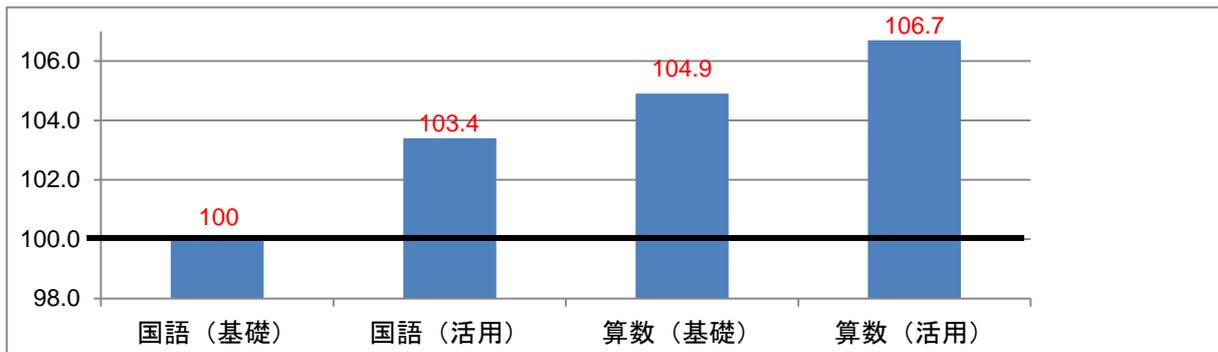
(1) 小学校 第5学年



(2) 中学校 第1学年



(3) 中学校 第2学年



□ 小、中学校の各学年ともに、全ての教科区分で福岡県平均以上となっている。

3 結果から見えた糸島市の課題

【小学校 第5学年】

- 伝統的な言語（故事成語）の理解や接続詞を使って文章を分けて書く問題について課題がある。

【中学校 第1学年】

- 百分率を用いて基準量を求める問題について課題がある。

【中学校 第2学年】

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題について課題がある。

【小中共通】

- 文学作品や説明文の内容を読み取る問題について課題が見られる。
- 記述する問題や、選択肢の中から答えを選択した根拠を説明する問題について課題が見られる。

4 学力向上における今後の取組について

糸島市学力向上プラン「課題解決のための5つの方略」に基づいて取組を行う。

（1）学力向上のための基盤整備

- ① 少人数学習等の充実
 - ・土曜や夏季休業中の補充授業の確実な実施
 - ・学習習慣定着事業による放課後学習の確実な実施

（2）教員の実践的指導力の向上

- ① 『糸島力』を育む「学びの Design」による学力向上を推進する校内研究の充実
 - ・汎用的能力を育成するため、学力調査の傾向等をもとにした授業改善
- ② 全学年、全教科・領域における学習指導の日常的改善及びその実現のための校内研修の実施
 - ・疑問や不十分さから学習意欲を引き出す学習課題（めあて）づくり
 - ・選択した根拠を説明したり自分の考えをまとめたりする言語活動（「書く活動」の段階的指導）
充実
 - ・共通点や相違点、関係を見出したり、考えを収束させたりする「思考を促す交流活動」の充実
 - ・定期的な授業評価を生かした授業の検証改善
- ③ 調査課題を活用した学力向上研修会の実施
 - ・学力調査の傾向を捉えた授業改善案の検討
- ④ 中学校における学力向上の取組
 - ・入試改革とつなぐ活用問題（B問題）を参考にした定期考査作成と授業改善
- ⑤ 課題校への調査と指導主事の巡回指導による取組の把握

（3）学校・家庭・地域の連携強化

- ① 小中連携校区事業の充実
 - ・小中の教育課程や教育目標、学び方、学習規律、家庭学習の内容や方法の共有を図る研修の実施
- ② コミュニティ・スクールやP T A活動と連携した補充学習の推進

（4）学校における改善の徹底

- ① 各種調査の結果に基づく学力向上プランの修正と「学力向上に向けた取組」の作成・改善
- ② 「学力向上に向けた取組」の集約

③ 効果的な取組の確実な実施

- ・全教科・領域における日常的な授業改善や指導の徹底
- ・H19～H30 までの全国学力調査の過去問題を活用した授業の実施

④ 「学力向上に向けた取組」の進捗状況調査

⑤ 「学力向上に向けた取組」の評価・改善

→ 次年度の学力向上プランへの反映